

学習指導案の形式（例） 小学校体育科

第○学年○組 体育科 学習指導案

平成○年○月○日（○）第○校時 ○○○ 指導者 ○○ ○○

1 単元名 ○○○○○○○○

◇まとまりをもった教育内容の単位の名称を記述する。

2 単元の目標

- (1)
- (2)
- (3)

◇学習指導要領で示された目標及び内容を踏まえて『評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料【小学校 体育】』（平成23年11月 国立教育政策研究所）等を参考にして、適切に設定する。

3 単元の評価規準

◇（ ）は保健領域

	運動への関心・意欲・態度 (健康・安全への関心・意欲・態度)	運動についての思考・判断 (健康・安全についての思考・判断)	運動の技能 (健康・安全についての知識・理解)
単元の評価規準	例：～取り組もうとしている。	例：～を見付けている。 (～を表している。)	例：～ができる。 (～を理解している。)
学習活動に即した評価規準	①	◇評価規準は、『評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料【小学校 体育】』（平成23年11月 国立教育政策研究所）等を参考にして、適切に設定することが望ましい。	

4 指導と評価の計画（全○時間）

時	主な学習活動	評価規準			評価方法
		関心 意欲 態	思 考 判 断	技 能 (知 識 ・ 理 解)	
	◇児童の立場で簡潔に書く。				(評価方法)
	◇指導と評価の計画は、『評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料— 小学校 体育—』（平成23年11月 国立教育政策研究所）、学校体育実技指導資料（文部科学省）等を参考にして、適切に設定することが望ましい。	①			◇評価方法を書く。 ◇毎時間の評価の観点は、一つか二つ程度に絞る。
	◇単元の中に、三つの評価の観点がどのように位置付けられているかを○数字等で示す。 ◇評価時期を考え、バランスよく評価する。				

5 指導上の立場

- 単元観
- 児童観
- 指導観
- 研究主題との関連

◇指導者の立場で書く。

◇単元観……………取り上げる単元の内容、既習児童との関連、今後の展開、その単元を取り上げる意義、単元・教材と児童の関係など。

◇児童観……………児童の体育科における興味・関心・意欲、単元に関する知識・技能、既習事項の定着度など前単元までの実態や本単元で育てたい望ましい児童像

◇指導観……………指導・支援の力点、学習形態、仮説、その他の配慮事項など、児童のよさや可能性を生かすような工夫や手だて。

◇研究主題との関連…研究主題の説明を簡潔に記述し、研究主題と授業研究における指導仮説を明確にして書く。

6 本時案（第○次 第○時）

(1) 本時の目標

- ◇単元の指導計画に即して、本時の学習活動の目標を具体的に示す。
- ◇単元の目標や評価規準との整合を図る。

例：～することができるようにする。

(2) 展開

主なねらい・学習活動	教師の指導・支援	評価方法及び評価規準
<p>1</p> <p>◇児童の立場で書く。</p>	<p>○ ◇学習活動に対して主となる指導・支援を書く。</p> <p>◇指導者の立場で書く。</p> <p>めあて</p>	<p>◇児童の立場で書く。</p>
<p>2</p> <p>◇導入・展開・終末の学習過程に沿って児童の学習活動を書く。</p> <p>◇一人一人の児童が何をめあてに活動すればよいかをつかめるように具体的に書く。</p> <p>◇岡山型学習スタンダードの一単位時間の授業5（ファイブ）を参考にする。」</p>	<p>○ ◇児童の目的意識のまとめりや活動目標など、本時のめあてを示す。</p> <p>◇本時で何をどのように学ぶかの見通しがもてるようにする。</p> <p>◇学習活動に沿って、指導・支援の意図、工夫、手だてなどについて留意すべきことを具体的に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される児童の反応 ・児童一人一人の学習進度に応じた手だて ・児童が主体的に、学習を進めるための手だて ・資料提示の機会や方法 ・効果的な学習法や学習形態の工夫・準備物 等 <p>◇学習活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。</p> <p>○例：～と声かけをする。</p>	<p>◇本時の目標との整合を図る。評価の場面は1、2か所。</p> <p>◇評価規準を具体的に書く。</p> <p>◇評価の観点や方法を書く。</p> <p>[評価の観点] (評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言の内容 ・行動の観察 ・ノートの記述 ・ワークシートの記述 ・VTR撮影の映像等
<p>3</p>	<p>◇「努力を要する」状況（C）と判断される場合における児童への手だての例を示す。</p>	<p>○例：～を選んでいる。 [思考・判断] (観察・学習カード)</p>
<p>4</p>	<p>まとめ</p>	
<p>5</p>	<p>◇本時に何を学んだのが分かるように整理し、めあてと対応したまとめの文章表現の例を示す。</p> <p>◇まとめは、本時の目標や学習内容に応じて柔軟に位置付ける。</p>	

◎「おおむね満足できる」状況（B）と判断する児童の姿の例

- ◇本時の評価規準に照らして、本時でねらう児童の姿を具体的に書く。